

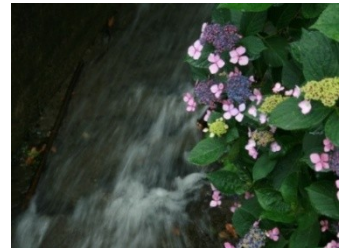
山梨大学学生フォーミュラ部

5 月中間報告書

支援者皆様へ

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度は、山梨大学学生フォーミュラ部の 5 月中間報告をさせていただきます。

6 月で大会まで残すところ 3 か月余りとなり、大会に提出する書類の期日が迫ってまいりました。今年の大会の参加校は昨年よりも増え、書類審査も厳しくなっておりますが、今年も無事に書類審査を通過できるよう全力を尽くしております。今後も皆さんの御支援・御声援よろしくお願いいたします。



活動報告

・自動車技術会による講習会

5 月 23, 24 に自動車技術会による講習会が東京工業大学で行われました。この講習会は、学生フォーミュラにおける基礎的なマシンの製作からチームのマネージメントまで幅広い内容となっております。弊部からは主に 1 年生の部員が参加させていただき、今後の活動に必要な知識をつけてまいりました。講習会を開催していただいた関係者の皆様、誠にありがとうございました。

車両製作

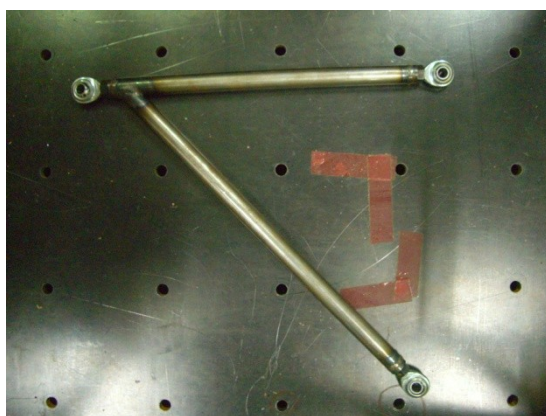
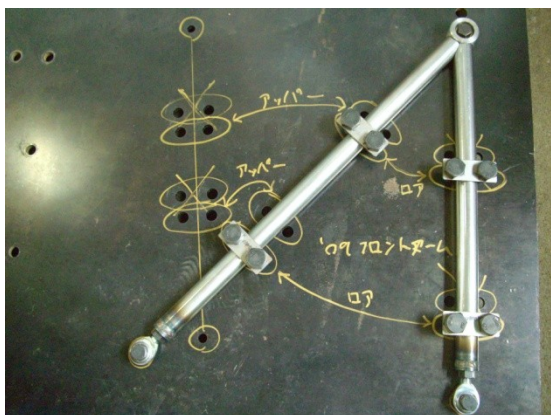
・シートの完成

昨年までアルミ板を使って作製していたシートですが、今年は軽量化と座り心地の改善のために FRP で作製し、ようやく完成しました。まだ、シートベルトを通す穴の加工などが残っていますが、座り心地はとてよく重量も昨年よりも大幅に減量することができました。



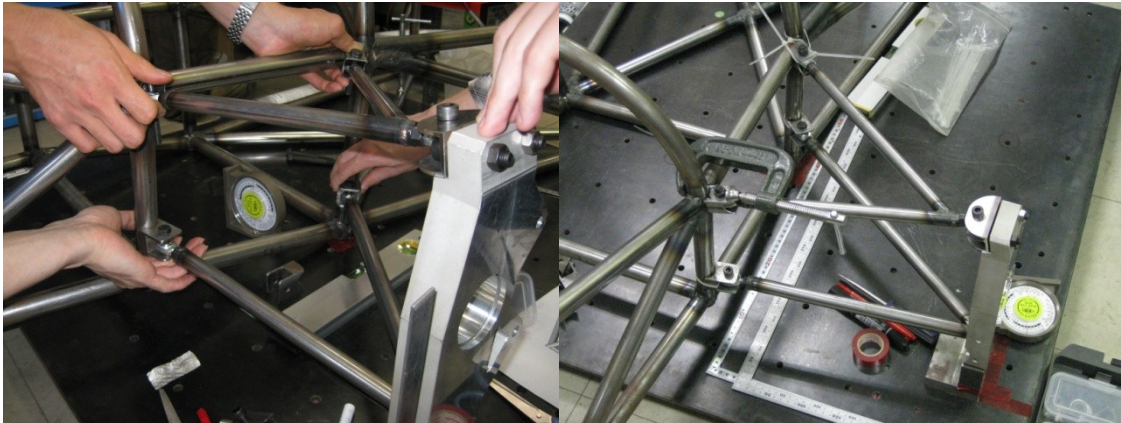
・フロントアームの作製

サスペンション班では、フロントアームを作製しました。今年のアームは昨年より短く、左右で約 0.6kg の軽量化に成功しました。また、今年度はショックの取り付け位置を変更したためプルロッド式であったものをプッシュロッド式となりました。



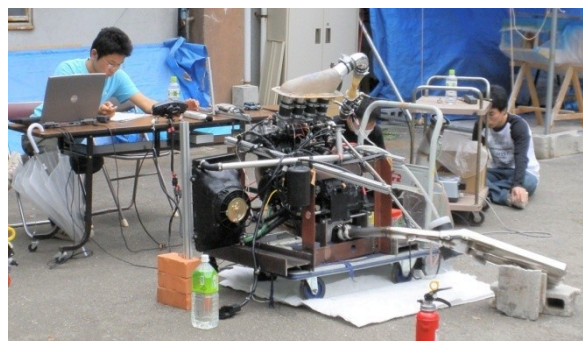
・フロントアームブラケットの溶接

サスペンション班では、フロントのアームを固定するブラケットの位置出し溶接を行いました。この位置出しとは、CAD 上のフレームと実際のフレームでは若干のずれがあるため、実際のフレームで最終的なブラケットの位置を決定する作業のことです。この作業は以下の写真のように水平な板の上にフレームとアーム類を置き、それに合わせてブラケットの位置を決定します。



・エンジン試験

エンジン班では、エンジンの調整とブローバイ処理装置の評価試験を行いました。エンジンの調整については、試験を繰り返し行うことで徐々に安定して回るようになってまいりました。ブローバイ処理装置の評価試験については、活性炭によってどれくらいブローバイガスが浄化されているのかを排ガス測定機を使って確認しました。



最後に

いよいよ 6 月に入りマシンの完成も近づいてまいりました。しかし予定していたシェイクダウンには間に合うことができず、遅れはまだ取り戻すことができておりません。7 月に入ると定期試験の時期になり活動の時間も減ってしまうため、早目にこの遅れを取り戻しシェイクダウンをさせなければなりません。一日でも早くマシンを完成させるために部員一同努力してまいりますので、これからも皆様の御支援・御声援よろしくお願いいたします。

山梨大学学生フォーミュラ部一同